

I. 神の王国は、神がご自身のご計画を成し遂げる神聖な範囲です。神の王国は、神がご自身の権威を行使して、ご自身の意図する事を達成することができる領域です。

マルコ1:15 そして言われた、「時は満ちた。神の王国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。

ヨハネ3:3 イエスは彼に答えて言われた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は新しく生まれなければ、神の王国を見ることはできない」。5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない」。

マタイ12:28 しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである。

啓11:15 第七の御使いがラツパを吹いた。すると、天に大声があって言った、「世の王国は、私たちの主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。

マタイ24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。

人は神を表現していないだけでなく、神に対して反逆しています。悲しい事に、今日のクリスチャンはおもに恵みの福音を宣べ伝えているだけです。彼らは恵みの福音を宣べ伝えることでは正しいのです。私たちは恵みによって救われました。キリストは私たちの罪のために死なれました。私たちは、イエスが主であると告白し、主の御名を呼び求めました。私たちの罪は赦されており、私たちは永遠の命を持っています。これは良き知らせです。しかし、それ自体においては、神の定められた御旨のために何一つ成就していません。多くの人が恵みの福音によって救われてきました。私たちは彼らの救いを喜びます。どこにおいても、だれが救われてもすばらしいのです。しかし、地上の至る所におけるすべての救われた信者たちの間で、だれが神の永遠の定められた御旨を知っているのでしょうか？…だれが神の王国の実際の中にいるのでしょうか？今私が言うことは、あなたを驚かせるかもしれません。地上の七十数億の人々はみな、恵みの福音によって救われることができます。しかし、依然として神の根本的な問題は解決されていません。なぜそうなのでしょう？なぜなら、依然として神の王国の実際や実現がないからです。ほとんどすべての人は、自分自身の利益のために救いを評価します。そして大多数の人が反逆の原則にしたがって生きています。ですから、サタンは地位を失っていないのです。…ですから、神は何をすべきでしょうか？神の福音のあらゆる面の回復がなければなりません。特に神の王国の福音です。…彼は言われました、「この王国の福音は、…人の住む全地に宣べ伝えられる」。

II. 主イエスは肉体と成った神として来て、神の王国を設立し、一つの領域を設立しました。神はその中で、ご自身の権威を行使することを通して、彼の定められた御旨を遂行することができます。
マルコ1:14 …イエスはガリラヤに来て、神の福音を宣べ伝え、15 そして言われた、「時は満ちた。神の王国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。

ヨハネ1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

3:3 イエスは彼に答えて言われた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は新しく生まれなければ、神の王国を見ることはできない」。5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない。

18:36 イエスは答えられた、「私の王国はこの世のものではない。もし私の王国がこの世のものであったなら、私のしもべたちは、私がユダヤ人に引き渡されないように戦ったであろう。しかし事実、私の王国はここからのものではない」。

使徒28:30 こうして、パウロは…彼を訪ねて来るすべての人を喜び迎え、31 大胆に、妨げられることなく、神の王国を宣べ伝え、主イエス・キリストについての事柄を教え続けた。

ヨハネが引き渡された後、イエスはガリラヤに来て、神の福音を宣べ伝え、そして言われた、『時は満ちた。神の王国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい』。…これらの福音について接触する人たちは悔い改める必要があるということが、私たちの考えの中にあるのでしょうか？彼らは思いにおいて変えられる必要があります。使徒行伝第17章で、神はあらゆる人があらゆる所で悔い改めるように命じると告げられています。私は、あなたが「悔い改めよ」と言っている大きな看板をもって、大通りを歩いて行くべきであると言っているではありません。しかし、これは命令です。福音は神からの命令で満ちています。主は神の福音を告げ知らせました。彼の福音の内容は神の王国でした。そして彼は人々に、「悔い改めて、福音を信じなさい」と言われました。

今私は原則においてあることを語りしたいと思います。私はこの事柄が敏感な事柄であることを知っています。多くの時、自然界で起こる悲劇の背後でこの原則が働きます。例えば、エクアドルで地震が occurred。その原則は、神が人類に悔い改めるように警告し、召しておられるということです。主イエスはルカによる福音書第13章でこのことについて語りました。シロアムの塔が倒れて、死んだ人たちは、他の人たちよりも罪深かったのでしょうか？主は言われました、「あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるのである」。

II. 主イエスは肉体と成った神として来て、神の王国を設立し、一つの領域を設立しました。神はそ
の中で、ご自身の権威を行使することを通して、彼の定められた御旨を遂行することができます。
マルコ1:14 …イエスはガリラヤに来て、神の福音を宣べ伝え、15 そして言われた、「時は満ちた。
神の王国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。

マルコ4:3 「よく聞きなさい！ 見よ、あの種まく者が、種をまきに出かけた。26 イエスはまた言われ
た、「神の王国はこのようなものである。ある人が地に種をまき、27 そして夜昼、寝起きしていると、
その種は芽を出し伸びていくが、どのようにしてそうなるのか、その人は知らない。28 地は自ずか
ら実を結ぶのであり、初めに葉、次に穂、次に穂の中に穀粒が満ちる。29 しかし実が熟すると、直
ちに人はかまを入れる。刈り入れ時が来たからである」。

マタイ12:28 しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあな
たがたに臨んでいるのである。24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、
人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。

啓11:15 第七の御使いがラツパを吹いた。すると、天に大声があって言った、「世の王国は、私たち
の主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。

アメリカ合衆国の大都市の学校は、教室が大混乱の状況にあります。とても多くの学生は先生たち
を全く尊敬せず、冒とくしています。先生が授業の計画をもって、学生たちに教えることを準備して教
室にやって来ます。教室は先生がそのことを行なう領域ですが、先生は教えることができません。で
すから、先生はすべての時間を費やして秩序をもたらしようとします。神にはご計画、定められた御旨
があります。しかし、彼にはそれを成し遂げることのできる領域が必要です。その領域は地です。しか
し彼は地上のどこで、ご自身が行ないたいことを行なうことができるのでしょうか？ すべての人が、
「アーメン、主よ、私たちはあなたと一です。少なくとも、ここにおいて私たちと共に、あなたは何であれ
行ないたいことを行なうことができます」と言うような領域があるのでしょうか？ それが王国です。王国は、
人が自分の願うことをすべて行なうことができる場所です。…今から三十歳以下の人に対して語りた
いと思います。あなた個人は、あなたと主との間で、神が行ないたいことをすべて行なうことができ
る領域でしょうか？ このことを考えてください。主は私たち自身がこのことに同意することができないこと
をご存じです。ですから、彼は小さな種として私たちの中へと入って来られました。この種は王国の命を
内容としています。この種はあなたの霊の中にあります。種があなたの中で成長するとき、あなたの中
には神が行ないたいことをすべて行なう余地があるようになります。しかし、この成長が起こる間、あな
たは原則において一つのことを決定する必要があります。主に告げてください、「私の中で、私に対し
て、あなたが行ないたいことをすべて行なってください」。

Ⅲ. 宇宙における根本的な問題は、神の権威に対する反逆です：

イザヤ14:12 暁の星、夜明けの子よ、おまえは天から落ちてしまった！ 諸国民を打ち倒した者よ、おまえは地に切り倒されてしまった！ 13 おまえは心の中で言った、『私は天に昇ろう。私は神の星の上に、私の座を高く上げよう。私は北の果てにある集会の山に座ろう。 14 私は雲の高い所の上に昇ろう。私はいと高き方のようになろう』。

A. サタンが意図することは、神の主権を侵し、神の権威を強奪し、神の御座を覆し、自分自身の王国を設立することです。

マタイ12:26 もし、サタンがサタンを追い出すとしたら、彼は自ら分かれ争うのである。それではどうして、彼の王国は立ち行くだらう？

エペソ2:2 かつてはそれらの中で、この世の時代に流され、空中の権威の支配者、すなわち不従順の子らの中に今も活動している霊の支配者にしたがって、歩いていました。

B. 人は墮落したとき、神に反逆し、神の権威をわきに置き、神の権威を否み、神の支配を拒絶しました。

創3:6 そこで、女が見ると、その木は食べるのに良く、目に喜ばしく、その木は賢くなるのに好ましかったので、彼女はその実を摘み取って食べた。彼女はまた一緒にいた夫に与えたので、夫も食べた。 11 すると、神は言われた、「あなたが裸であるのを、だれがあなたに告げたのか？ あなたは、食べてはならないと私が命じた木から食べたのか？」。

ローマ5:12 こういうわけで、一人の人を通して罪がこの世に入り、そして罪を通して死が入ったように、すべての人が罪を犯したために、死がすべての人に及びました。

Iヨハネ3:4 すべて罪を犯す者は、また不法を行ないます。罪は不法です。

Ⅳ. 王国の福音を通して、神は人々を天的権威の支配の下にもたらしめます。それは彼らが、彼の王国となるため、すなわち、彼の権威によって支配される人たちとなるためです：

マタイ24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。

啓1:5 また忠信な証人、死人の中から最初に生まれた方、地上の諸王の支配者であるイエス・キリストからあるように。私たちを愛して、彼の血によって私たちを罪から解放し、 6 私たちを王国とし、彼の神また父の祭司としてくださった方に、栄光と権能が永遠にわたってあるように。アーメン。

A. 新約は王国に関して福音を宣べ伝えます。神の王国は真の福音ですから、福音を認識するには、王国を認識する必要があります。

使徒8:12 しかし、ピリポが神の王国とイエス・キリストの御名の福音を宣べ伝えているのを彼らは信じて、男も女もバプテスマされた。

B. 福音は王国のためです。福音が告げ知らせられるのは、反逆的な罪人が救われ、資格づけられ、装備されて、神の王国の中へと入るためです：

マタイ4:17 この時からイエスは宣べ伝え始めて言われた、「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」。
使徒8:12 しかし、ピリポが神の王国とイエス・キリストの御名の福音を宣べ伝えているのを彼らは信じて、男も女もバプテスマされた。

1. 命の福音、恵みの福音、救いの福音は、すべて王国のためです。王国が中心、車軸です。

ヨハネ3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

使徒20:24 しかし、私が自分の行程と、主イエスから受けた務めを全うして、神の恵みの福音を厳かに証しするためには、自分の命を尊いとは思いません。4:12 この方のほかに、救いはありません。

私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです」。

2. 王国の福音は、人々を神の救いへともたらすだけでなく、王国へともたらします。王国の福音の強調点は、神の天的支配と主の権威にあります。

3. 王国の福音は、信者たちを神聖な支配の領域へともたらします。それによって彼らは神聖な王国の中で、神聖な命の祝福にあずかります。

I テサロニケ2:12 それはあなたがたが、ご自身の王国と栄光の中へと、あなたがたを召しておられる神にふさわしく歩くためです。

C. マタイによる福音書において、王国の福音の目標は、人々を三一の神の中へと入れ、彼らを天の王国の国民とすることによって、天の王国を設立することです。

マタイ28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、

ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。

もしあなたが反逆的な罪人に会っても、ショックを受けないでください。これが全地の状況です。私たちの主が来たのは、反逆的な罪人を救うためです。彼らがどれだけ反逆的であっても、恐れなくてください。彼らはおそらくタルソのサウロのようにあなたを殺害しようとしません。神の福音を信じなさい。あなたがたがささげる祈りを信じなさい。反逆的な罪人は救われて、神の王国の中へと入るのです。…東京に召会があります。ですから、東京の一部は神の支配の下にあります。この多くの人々は神の支配の下にいます。主は都市に次ぐ都市を欲しています。

V. 私たちはキリストにある信者として、再生されて、神聖な種族の領域としての神の王国の中へと入りました。そして、命、光、愛の中で、神の支配の下に生きています：コロサイ1:12 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。13 御父は私たちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。

A. 私たちは神の王国の中へと生まれました。今や、私たちの霊の中の神聖な命は、神の王国を知っています。

B. 私たちが再生を通して入った神の王国は、神聖な種族の領域です。私たちは神から生まれて、神の命と性質を持つ神の子供たち、すなわち、神・人となることによって、この神聖な領域の中へと入りました。ヨハネ1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。

C. 私たちは再生を通して、神の愛する御子の喜ばしい王国の中へと移されました。これは、私たちが愛の中で、命をもって支配される領域です。今日、私たち自身がいる王国は、命と光と愛に満ちている領域です。

この領域は愛に満ちています。とても輝いており、光に満ちています。死もなく、命に満ちています。私たちは宇宙で最も幸いな場所にいます。

VI. 王国の福音は、この時代の終わりの前に、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられます（マタイ24:14）：

A. この宣べ伝えは、啓示録第6章1節から2節の第一の封印の白い馬によって表徴されており、この時代の満了のしるしとなります。

啓6:1 小羊が七つの封印の一つを開いた時、私が見ていると、四つの生き物の一つが雷のような声で、「来たれ」と言うのを聞いた。2 そして見ていると、見よ、白い馬があり、それに乗っている者は弓を持っていた。そして冠が彼に与えられた。彼は出て行って勝利を得た。そして、さらに勝利を得る。

B. 諸国民を弟子とすることは、異邦人を王国の民とならせて、この地上に、今日でさえ、彼の王国、すなわち、召会を設立することです。

C. 私たちが福音を宣べ伝える内在的な目的は、諸国民を三一の神の中へともたらしめて、彼らを天の王国の国民にすることです。

私はこのように終えます。私はあなたが祝福を期待するように勧めます。…「主よ、あなたの永遠の定められた御旨のために、あなたのかたちと統治権のために、あなたの栄光と王国のために、日本におけるあなたの回復を祝福してください」。

経験(ビジネス・ライフ編):

- ① 宇宙における根本的な問題は、神の権威に対する反逆です。王国の福音を通して、神は人々を天的権威の支配の下にもたらしめます。それは彼らが、彼の王国となるため、すなわち、彼の権威によって支配される人たちとなるためです。

あなたは宇宙の根本的な問題が、神の権威に対するサタンの反逆であることを知る必要があります。言い換えると、サタンの反逆に追従せず、神に対して服従することを学ぶ必要があります。このことを学ばなければ、あなたは問題の根本原因を対処していないことになりますので、あなたの生活にはいつも暗闇と混乱があります。あなたは職場において、主に従うことによって、自分の上司に従うべきです。そうすることで、職場に神の支配と祝福をもたらしてください。

コロサイ3:22 奴隷たちよ、すべての事で、肉によるあなたがたの主人に従いなさい。人にへつらう上辺だけの仕方ではなく、単一な心で主を畏れつつ従いなさい。23 あなたがたが何をするにしても、人に対してではなく、主に対してするように、心から行ないなさい。

- ② 命の福音、恵みの福音、救いの福音は、すべて王国のためです。王国が中心、車軸です。王国の福音は、人々を神の救いへともたすだけでなく、王国へともたらしめます。王国の福音の強調点は、神の天的支配と主の権威にあります。王国の福音は、信者たちを神聖な支配の領域へともたらしめます。それによって彼らは神聖な王国の中で、神聖な命の祝福にあずかります。

ほとんどのクリスチャンは、命の福音、恵みの福音について理解しますが、王国の福音について理解しません。しかし、命の福音も恵みの福音も、実は王国のためです。王国がなければ、目的がなく、中心、車軸がないので、神のエコノミーは完成されません。王国の福音において、その重点は、神の天的支配と主の権威です。あなたは悔い改めて、王国の福音を受け入れましたが、クリスチャン生活において、絶えず悔い改めを経験し、反逆から服従へ、不平から感謝へ、不信仰から信仰へ、できない自分からできる神へ、消極的な発想から積極的な発想へ、転換すべきです。悔い改めとは、思いの向きを主に向け変えることです。生活の中で、あなたは多くのとき、自分の古い観念や日本の文化に思いを向けています。主の恵みとあわれみにより、あなたが照らされたら直ちに悔い改め、自分の不信仰、弱さ、欠点、罪を告白し、主に向きを変え、主を見つめてください。そうすれば、あなたのビジネス・ライフにおいて、あなたは実際的に神の王国の中にとどまり、神聖な命の祝福にあずかることができます。実は、職場の実際的な環境はあなたが霊を活用し、思いを霊に付けて神の王国にとどまり、その領域を拡大させ、サタンと混乱を支配し、命の祝福を享受する訓練の場なのです。神に感謝する中で、勤めている会社と上司に感謝し、王国のために自分自身を訓練してください。アーメン。

- 1 天ごくいま地上にあり、わがこころ支配する；
キリストわがうちに生きて、主とし王としおさめる。
- 2 主はいのち、権威により、こころに御座を据え、
われらの言動すべて支配し、うちなる部分を管理す。
- 3 主はこころに御座据え、主の王こくを建造す、
主の全権統治をもておさめ、かく面のみちそなえる。
- 4 こころ支配されるとき、いのち供きゆうされる；
主を主とし、王とするときに、主のゆたかを享受する。
- 5 わがうちの統治により、主の豊満、けん造され、
わがうちの王こくの権威で、主のからだ建造される。
- 6 うちなる天の支配にて、天のたみのように生く；
主の支配にふくするわれに、おうこくはじつ現する。
- 7 この天の領いきに生き、天の主権を所有する、
天のひかりに生き、たたかい、王こくを地にもたらず。

746 國度—裏面的統治

- 1 神的國度今在地上，是神掌權在我心裏；
乃是基督活我裏面，作主作王統治管理。
- 2 基督生命同祂權柄，使祂登極在我心中，
管理全人每一部分，規律一切言語行動。
- 3 基督在我心中登極，就在我心建祂國度，
穩定祂的全權統治，為著神旨各方鋪路。
- 4 藉著祂在我心執政，祂將生命向我供應；
當我讓祂作主作王，我就得享祂的豐盛。
- 5 藉著祂在裏面管治，祂的豐滿在我建起；
當祂裏面國度掌權，祂的身體就得建立。
- 6 藉祂裏面屬天管治，我像天上國民活著；
藉著我肯服祂權柄，祂的國度實現於我。
- 7 在這屬天範圍活著，帶著祂這屬天王權，
屬天光中行動、爭戰，直到國度在地實現。

1. God's Kingdom on the earth is now
His sovereign government within;
'Tis Christ Himself in us to live
As Lord and King to rule and reign.
2. His life with His authority
Enthrones Him now within our hearts
To govern all our words and deeds
And regulate our inward parts.
3. The Lord enthroned within our hearts
His Kingdom doth establish there,
Assuring His full right to reign
And for God's purpose to prepare.
4. 'Tis by His reign within our hearts
That life to us He e'er supplies;
When taking Him as Lord and King,
His wealth our being satisfies.
5. 'Tis by His ruling from within
His fulness vast is testified;
'Tis when His inner kingdom rules
His Body's blessed and edified.
6. 'Tis by His heav'nly rule within
As heav'nly citizens we live;
'Tis by submission to His rule
Expression of His reign we give.
7. Here in this heav'nly realm we live,
And with this heav'nly pow'r possessed
We walk and fight in heav'nly light
Until the Kingdom's manifest.